

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	総務課	重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。			
	課長名	田尾 弘		コスト	事業費	27年度当初予算額 3,764,321 千円	人件費

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		土木職員費	土木職員費	職員給	—	—
2		西部整備事務所(コムシティ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	庁舎管理	—	—
3		研究集会等参加事業(人権研修会等経費)	人権研修等の参加に要する経費	その他	—	—
4		建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費		—	—
5		土地取得特別会計繰出金	土地取得特別会計への繰出金		—	—

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	管理課	重点項目	道路の適正管理							
	課長名	橋本 武彦		コスト	事業費	27年度当初予算額	人件費	目安の金額	課長	1	人
298,586 千円						101,500 千円		係長	3	人	
									職員	8	人

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	道路台帳の整備	—	—
2		道路不法占用物件除却事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	道路不法占用物件の除却	道路不法占用物件への効果的な対応	警察等の関係機関と連携した指導を検討すると共に、マニュアル等の規定の更なる整備を行う。
3		屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	屋外広告物の規制	申請率の向上	平成26年度に行った実態調査結果を検証し、今後の未申請広告物や基準不適格広告物への対応を検討する。
4		道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	道路占用管理業務	—	—
5		土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	その他	—	—

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	用地管理課	重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。 ・用地取得事業を事務的な側面で補完する。 			
	課長名	河田 守胤		コスト	事業費	27年度当初予算額 79,283 千円	人件費

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		地籍調査事業	国土調査法に基づき実施される事業で、市内の土地について、一筆毎の所在・筆界・面積等を調査し境界域を明確にするもの。	境界区域確定等の地籍調査	—	—
2		用地課事務一般	土地区画整理事業及び街路事業に係る用地取得事業のための経費	事務費	—	—

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路計画課	重点項目	真に必要な都市基盤の着実な整備や都心・副都心などの魅力向上を図るべく、物流ネットワークの強化や小倉・黒崎のにぎわいに資する道路整備を推進するとともに、通学路の安全対策やアンダーパスの事故防止対策、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組む。さらに、歩行空間のバリアフリー化や身近な生活道路の環境整備を着実に実施する。				
課長名	喜洲 淳哉	コスト	事業費	27年度当初予算額 20,677,498 千円	人件費	目安の金額 116,500 千円	課長 1 人 係長 3 人 職員 10 人

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		東九州自動車道等整備促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会の要望活動にかかる経費。	東九州自動車道等の整備促進	東九州地域のアクセス強化及び黒崎地区の交通渋滞の緩和	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ積極的に働きかける。
2		施設維持管理事業(指定管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務委託料	サイクリングセンターの管理運営	適切な施設の維持管理と安全で快適な利用環境の提供	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。
3		施設維持管理事業	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費			
4		放置自転車対策事業(指定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	自転車駐車場の管理運営と放置自転車対策	安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車の管理運営	市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安心な駐輪環境の提供と、効率的な自転車駐車場の管理運営、さらに、放置自転車対策業務の見直しについて検討します。
5		放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費			
6		自転車利用促進事業(行政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営等に係る経費	コミュニティサイクルステーションの運営	適切な施設の維持管理と安全で快適な利用環境の提供	効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。
7		若戸大橋安全対策推進事業(基金事業)	若戸大橋の改修工事に対して補助金を交付し、安全性の確保と走行性の向上を図る。	若戸大橋の安全確保	道路の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保	道路構造物の定期点検、修繕を実施し、効率的・効果的な管理を実践する。
8		若戸大橋・若戸トンネル維持管理支援事業	若戸大橋および若戸トンネルの維持管理費用に対して補助金を交付し、両道路の安全を確保する。	若戸大橋・若戸トンネル無料化の早期実現		
9	○	都市モノレール長寿命化事業(道路)	北九州モノレールインフラ部の長寿命化のため、劣化対策や耐震対策を行う。	モノレールの安全正・信頼性を確保	長寿命化や維持管理費の縮減	関係機関と協議・調整を行い、計画的かつ効率的な事業の推進に努める。

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
10	○	トンネル長寿命化事業	トンネルの点検、補修を行い、トンネルの長寿命化対策を実施する。	道路の適切な維持管理	道路の老朽化に伴う維持管理費の増大、安全性の確保	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。
11		アンダーパス安全対策事業	集中豪雨による冠水に備え、冠水警報装置等を設置し、ドライバーへの注意喚起など安全性の向上を図る。			
12	○	道路構造物定期点検	橋梁等の道路構造物において、適正な施設の維持管理を行うため、国の定める統一的な基準に基づく定期点検を実施する。			
13	○	防災・安全交付金(道路維持)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修や舗装補修等の道路施設の補修を実施する。			
14	○	単独事業(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。			
15		掘さく復旧	道路占用者が道路を掘削した区域の舗装等を復旧する経費。			
16	○	市民による地域のまちづくり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。			
17		にぎわいの都市づくり(道路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。			
18		道路一般維持	生活道路等の維持管理を実施するための経費。			
19		道路管理施設維持	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。			
20	○	道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	地域団体との協働による道路美化	道路を良好な環境に保つための道路維持	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげる。

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
21	○	恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。	恒見朽網線等の道路整備	周防灘沿岸部の物流機能強化及び周国道10号、門司行橋線などの交通渋滞の緩和	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。
22		八幡東区倉庫移転事業(黒崎バイパス関連事業)(道路改築)	八幡東区の倉庫が、国道3号黒崎バイパスの整備区間に位置し、支障となるため、移転する。	国道3号黒崎バイパスの整備で支障となる八幡東区倉庫の移転	国道3号黒崎バイパス整備と倉庫移転スケジュールの調整	
23	○	社会資本整備総合交付金(道路改築)(債務負担)	国道や地方道の道路新設改良を行う。	新設改良を行う道路の整備	計画的な事業の進捗	
24	○	国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。			
25	○	社会資本整備総合交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。			
26	○	防災・安全交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。			
27	○	単独事業(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。			
28	○	通学路の安全対策の推進(防災・安全交付金)	通学路の安全対策として、歩道・防護柵の設置や交差点の改良などを行う。	通学路の安全対策	学校・警察との連携による事業の推進	通学路点検を継続的に実施し、危険箇所の安全対策を実施する。
29		自転車利用環境整備事業(防災・安全交付金)	環境負荷の少ない自転車利用を促進するため、安全な自転車走行区間や駐輪施設の整備を行う。	自転車利用環境の整備	警察・交通事業者との調整	自転車走行区間や駐輪施設などのハード整備とあわせ、ルール・マナーの啓発などソフト施策も実施する。

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
30		防災・安全交付金(交通安全)(債務負担)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。	交通安全施設の整備	交通事故の抑制、歩行者の交通安全対策	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。
31	○	防災・安全交付金(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。			
32	○	都市再生整備計画(交通安全)	都市再生整備計画で整備する主要な施設の周辺道路において、交通安全対策を行う。			
33	○	単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。			
34		小倉都心部集客アクションプラン推進事業	小倉都心部のにぎわいづくりのため、歩行空間の魅力アップを行う。	歩行空間の整備	小倉都心部の回遊性の向上	小倉都心部の回遊性の向上につながる効果的な事業を実施する。
35	○	都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	景観に配慮した道路の整備	小倉都心地区、黒崎副都心地区の美しい都市景観の創出	小倉都心地区、黒崎副都心地区のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。
36	○	単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観に配慮した道路の整備を行う。		美しい都市景観の創出	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。
37	○	都市モノレール長寿命化事業(街路)	北九州モノレールインフラ部の長寿命化のため、劣化対策や耐震対策を行う。	モノレールの安全正・信頼性を確保	長寿命化や維持管理費の縮減	関係機関と協議・調整を行い、計画的かつ効果的な事業の推進に努める。

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
38	○	戸畑枝光線(街路)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。	戸畑枝光線の道路整備	響灘地区への物流機能強化及び八幡戸畑線などの交通渋滞の緩和	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。
39	○	社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	国道や地方道の都市計画道路の整備を行う。	都市計画道路の整備	計画的な事業の進捗	
40	○	都市再生整備計画(街路)(債務負担)	都市再生整備計画における都市計画道路の整備を行う。			
41	○	社会資本整備総合交付金(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備を行う。			
42	○	防災・安全交付金(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備を行う。			
43	○	都市再生整備計画(街路)	都市再生整備計画における都市計画道路の整備を行う。			
44	○	単独事業(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備を行う。			

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	公園管理課	重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。			
	課長名	菊山 修一		コスト	27年度当初予算額 2,608,772 千円	人件費	目安の金額 76,500 千円

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		有料施設等管理委託 (指定管理者)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	有料施設等の維持管理	—	—
2		有料施設等管理委託 (財源配分)	市立霊園に係る管理運営経費 及び 有料公園施設の備品購入経費		—	—
3		到津の森公園基金積立事業	到津の森公園基金積立事業	到津の森公園基金への積立	—	—
4		到津の森公園動物導入事業	アムールトラ導入事業	到津の森公園の展示動物の充実	—	—
5		公園等維持管理事業	市内全域公園等の維持管理事業	公園等の維持管理	—	—
6		自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業			
7		公園等一般管理(維持&内部管理)	市内無料公園の維持管理事業			
8	○	公園管理活性化事業	公園愛護会事業及びホームレス対策事業			
9		街路樹の腐敗・空洞化対策事業	街路樹倒木防止対策事業			
10		にぎわい創出のための勝山公園クリーンアップ事業	勝山公園の除草等大芝生のメンテナンス及び勝山公園・小倉城周辺美化清掃等事業			

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
11		市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	未使用区画等の整理による霊園の有効利用	使用許可者の存否が不明	墓地埋葬等に関する法律の手続きにより、看板設置、官報公告し、使用許可取り消しを行う
12		菜園などの地域コミュニティ活性化に資する公園活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	地域コミュニティ活性化のための公園整備	利用頻度の少ない公園が増加している	地域菜園や花壇等、それぞれの地域ニーズに応じた整備により、公園利用者の増加を図る

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	緑政課	重点項目	■環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり(曾根・豊岡地区) ■交流人口の増加に資する集客力の高い公園の整備(皿倉山周辺地区、響灘緑地ほか) ■地域ニーズに対応した身近な公園の再整備(子どもの安全・成長に配慮した公園整備、健康づくりを支援する公園整備ほか) ■市民ニーズを踏まえた公園の統廃合・再編(都島展望公園、公共施設マネジメント関連)			
	課長名	柴田 英博		コスト	27年度当初予算額	人件費	目安の金額
			事業費	2,413,484 千円		94,000 千円	係長 3 人
							職員 7 人

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1		浅野町緑地整備事業	小倉駅新幹線口地区の集客や賑わい創出のため、「北九州スタジアム」隣接地に広場を整備するもの	都市公園、霊園等の整備	-	-
2		北九州市民球場観覧席改修事業	座席が狭く老朽化も進んでいる内野特別指定席の改修を行うもの			
3		曾根・豊岡地区公園整備事業	環境首都にふさわしい緑地を整備し、曾根干潟と市民が接することのできる憩いの場を創出するもの			
4		土砂災害防止法に関する公園等災害防除事業	土砂災害防止法の特別警戒区域に指定された公園区域において、必要な対策を講じるもの			
5		美しい眺望と遊歩道を活用した散策ルート整備事業	登山ブームやH28年に施行される「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所の改修を行うもの			
6	○	社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園の整備・改修を行うもの			
7	○	防災・安全交付金(公園)	都市公園の整備・改修を行うもの			
8	○	都市再生整備計画(公園)	都市再生整備計画における都市公園の整備・改修を行うもの			
9	○	公園緑地事業(単独)	都市公園の整備・改修を行うもの			
10		霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行うもの			
11		市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行うもの			

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
12	○	防犯に配慮した公園づくり事業	市民が安全に公園を利用できるように、公園内の樹木の剪定、撤去し、見通しの確保を行うもの	犯罪防止のための公園整備	周辺から見通しがわるい公園の安全性の確保	犯罪の多い校区を中心に公園内の樹木の撤去、剪定を行う。
13		水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てるもの	水と緑の基金への積立金	—	—
14		到津の森公園希少動物の保護、導入事業	マダガスカル共和国と本市が共同で、希少動物の繁殖プロジェクトと教育プロジェクトを実施するもの	希少動物の保護・繁殖、到津の森公園の自然環境教育機能の向上等	—	—
15	○	花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行うもの	市民花壇、公共花壇等の整備、都市緑化に関する普及啓発	効果の検証を行い、事業の見直しを図る	効果的な公共花壇の設置箇所及び植栽デザインの検討
16		大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21都市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行うもの	公園機能の調査	公園機能について様々な課題が存在する。	大都市が抱える様々な課題について共同調査を行い、情報の共有化を図る
17		水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行うもの	都市緑化の推進	都市環境と景観の向上を図る	緑化助成により民間緑化を推進する
18		おひさま花壇整備事業	小倉駅新幹線口、市本庁舎前に高品質な緑化空間を設け、都市のうるおい空間を提供するとともに都市緑化の効用をPRする	高品質な公共花壇の整備	他の公共花壇との差別化	植栽デザインの検討と良好な状態を保つための維持管理の継続
19		桃園公園施設のあり方検討事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設等について、広域的・長期的な視点からあり方を検討する。	公園施設のあり方検討	—	—

平成27年度 課の事業一覧

組織名	建設局	水環境課	重点項目	○小倉都心部の浸水対策については、重点的に取り組む ○河川の整備にあたっては、河川環境を保全するとともに、その個性を活かした川づくりを進める。				
	課長名	關川 進太郎	コスト	事業費	27年度当初予算額 2,308,346 千円	人件費	目安の金額 109,000 千円	課長 1 人 係長 3 人 職員 9 人

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
1	○	重点河川(小倉都心部)整備事業	新成長戦略上も重要な、小倉都心部の浸水対策を推進するため、神嶽川を重点河川と位置づけ、集中的に河川改修を行う	治水対策等の河川整備	-	-
2	○	防災・安全交付金(河川)(債務負担)	紫川(下流域)の河川改修に伴う、JR鉄道橋の軌道切替補償のための債務負担			
3		河川管理施設等更新事業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費			
4	○	防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議のうえ改修を行うもの			
5	○	社会資本整備総合計画(河川)	市民が河川を通して自然と親しめる水辺環境づくりを行う			
6		都市再生整備計画(河川)	河川管理道に照明を設置する等、中心市街地の活性化に資する事業を行うもの			
7	○	河川改良(単独)	河川の溢水による浸水被害を防ぐため、護岸の整備などを行うもの			
8		市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの			

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
9		津波対策検討(河川)	福岡県による津波浸水想定を受けて、浸水被害が想定される地区について、津波対策を検討する	津波対策の検討	新たな津波浸水想定に対応した対策を検討する必要がある	関係機関と連携し、早急に対応策の検討を行う
10		防災ガイドブック作成事業	「土砂災害警戒区域」や「浸水想定区域」などの情報を追加した「防災ガイドブック」を作成する	住民の自助意識を育み、住民の主体的な防災対策を促進する	現在の防災情報マップには、「土砂災害計画区域」などの情報が反映されていない	防災情報マップを改訂した「防災ガイドブック」を、平成27年度6月に市民に配布する
11		にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの			
12		河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの	イベント支援、除草・清掃等による河川愛護の啓発および水辺の活用	新たに策定された、都市集客アクションプランの達成に向けた取り組みを強化する必要がある	イベントの実施に当たっては、これまで以上に他のイベントとの相乗効果を狙う(日程調整、合同のPRなど)
13		小倉都心部集客アクションプラン推進事業(河川)	①公共空間の魅力アップ、②歩いてみたくなる歩行空間の創出により、市民や来街者の行動範囲を広げ、滞在時間を延ばすことを目指す			
14		河川維持管理計画策定	予防保全的な取り組みにより、河川施設の長寿命化を推進し、改修費の縮減を図る	河川施設の長寿命化改修費の縮減	河川施設(護岸、暗渠、管理橋など)の老朽化が進んでいる	維持管理計画を策定し、予防保全的な取り組みを推進する
15		水環境館維持管理(指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	水環境館の維持管理	—	—
16		水環境館維持管理	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費		—	—
17		ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	ほたる館の維持管理	—	—
18		ほたる館維持管理	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の維持管理経費		—	—
19		ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたる塾」の開催費など	ホテル保護育成活動の支援	ほたる保護活動の活発化や団体間の交流促進を図る必要がある	ほたる塾の見直し等、多くの市民が水辺環境について学ぶ環境を整備する

No.	主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
20		河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	河川の維持管理	—	—
21		河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費			
22	○	河川維持事業	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金			
23		河川管理一般	河川賠償責任保険料、河川情報システムの通信料など、河川管理に必要な経費			
24		排水機場等維持管理事業	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費			